

5月25日～29日の課題② 一般動詞の過去形（不規則変化）の学習
1年生Program11と2年生Program15として英語を学ぶときの永遠の課題

年 組 番氏名

1年生のProgram10では「規則変化」の過去形の作り方を学びました。-(e)dの付け方は、次の4種類があります。

●動詞へのedの付け方

- ①そのまま付ける 例：play → played visit → visited
②語尾がeで終わる語はdだけを付ける 例：live → lived use → used
③子音+yで終わる語はyをiに変えてつける 例：study → studied try → tried
④短母音+子音で終わる語は最後の文字を重ねる 例：stop → stopped (数は少ない)

しかし、一般動詞には「不規則変化動詞」というものがあります。単純に言うと

「一つ一つ過去形の形が異なるのでそれぞれ覚えなければいけない」

ということです。生徒の中には

「なんで全部edをつける形にしないんだ！

覚えるのが大変じゃないか！！」と

と文句を言う人がいるかもしれませんが、「それが英語という言葉」なのと、

なぜedで終わる形でないのか？は学校が始まったときにお話ししたいと思います。

- 1 1年生の教科書のP.114～P.117の新出単語の欄(New Words)を見て、次の一般動詞の過去形を書きなさい。

原形	過去形	原形	過去形
go	went	break	broke
sit	sat	cut	cut
come	came	get	got

- 2 ワーク(Program11)を参考にして次の文の()内から適する語を選んで書きなさい。

I (go / went) to the shop yesterday. (went)

- 3 次の英文の()内の語を適する形に変えて書きなさい。

(1) My friend (come) to my house yesterday. (came)

(2) Ryo and Ai (sit) together last week. (sat)

- 4 次の英文の最後に()内の語を加えて、全文を書きかえなさい。

(1) We go home early. (yesterday)

→ We went home early yesterday.

(2) The bear comes out. (last month)

→ The bear came out last month.